

## 【警察庁】拾得物に関する情報の特定・抽出等の合理化

### 課題の背景

警察では、拾得物を速やかに遺失者に返還するため、拾得物・遺失届の受理業務を行っているところ、受理した拾得物の品名や特徴等を特定・抽出し、関係書類への記入、データベースへの登録等を行うとともに、遺失届を受理した際にはデータベースへの照会等を行っている。特に繁華街を管轄する交番等においては、日々、膨大な量の拾得物等を取り扱う必要があり、こうした作業が交番勤務員等にとって大きな負担となっている。

※令和元年中に届出のあった拾得物は、特例施設占有者保管分を含め約2,975万点に上っている。

### 課題のゴール

交番等に届け出られた拾得物について、撮影した画像の分析等を行うことにより、品名等の特定や、色、形状その他の特徴等の抽出を自動的かつ詳細に行う。また、特定・抽出した情報の関係書類への記入やデータベース登録等も自動で行うことにより、業務の合理化、効率化を図る。

### 求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・品名や特徴等の特定・抽出が高精度であり、かつ、一定程度詳細であること  
（品名例：財布、靴、カバン等                                  特徴項目例：色、サイズ等）
- ・関係書類への記入等のため、特定・抽出した情報の言語化が可能であること
- ・オンプレミス環境下で動作すること

### 協力事項

- ・ニーズや解決手法に関する検討
- ・関係書類の様式や入力フォーマット等の関連情報の提供
- ・取組内容の評価